

# 名市工 NEWS

## 赤ちゃん交流体験

<第220号>

令和元年 10 月 24 日（木）の午後に、ライフデザイン（3年生29名）の生徒たちと、地域の赤ちゃんと保護者の方々との交流体験学習を行いました。先月の高齢者の方々との交流体験同様、生徒が楽しみにしていた授業です。当日は小雨にも関わらず、本校の柔道場に14組の方々が来てくださいました。最初は緊張していた生徒たちでしたが、保護者の方々の温かい声かけと、赤ちゃんの姿、そしてこの授業のサポーターである中川区社会福祉協議会のスタッフさんの皆さんのおかげで、和やかな時間を過ごすことができました。



初めての抱っこにドキドキしています。



おもちゃで興味をひきましょう。



あちこちで交流しています。



赤ちゃんと一緒にポーズをとります。



ありがとう♡最後はグッスリです。



代表生徒からお礼のあいさつです。

☆生徒の感想☆ ・不安に思っていたことをそうじゃないと言ってきて安心した。・エコー写真や産まれてからの記録などを見させていただいて、愛情いっぱい育てられているのだなと感じた。この体験ができて本当によかったです。・すごく心に響いて学ばせてもらうことができた。大変さはあるものの幸せの方が大きいので、前よりもっと子どもがほしいと思った。・自分が作ったお手玉で遊んでくれたり、それで笑ってくれたりしたのが嬉しかった。・親のありがたみをあらためて感じた。自分もその立場になったら生かしたい。

この交流体験は2013年から行っています。今年で7回目の開催ですが、ライフデザインの選択者はこの日のために、お土産の「お手玉」を作ったり、赤ちゃんに関する講義を聞いたり、事前準備をしてきました。前日の夜は興奮して眠れなかった生徒もいるほど楽しみにしている授業です。赤ちゃんとのふれあいだけでなく、保護者の方々の熱い思いや愛情を直接感じ、自分自身のこれまでの人生を振り返りつつ、将来に向けての考えもより一層深めることができました。このような授業ができるのは、地域や他団体の協力のおかげであり、様々な人々が自分たちを支えてくれていることも理解できました。ライフデザインははじめ家庭科では「共に生きよう」という言葉をキーワードに授業を行っています。今回の貴重な体験をふまえ、生徒たちは周囲の人々とともにしっかりと人生を歩んでいくことでしょう。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。